

里親制度のこと、 ご存じですか？

子どもが健やかに成長するためには、安定した家庭環境の中で、保護者の温かい愛情に包まれ育てられることが必要です。しかし、埼玉県内には何らかの理由で自分の家庭で生活できない子どもが約1,800人います。そのような子どもを家族の一員として迎え、温かい愛情と家庭的な環境で育てていくための制度が「里親制度」です。

里親養育の現状

埼玉県内では、自分の家庭で生活できない子どもたち1,800人のうち令和3年6月1日時点で433人が里親のもとで生活し、1,367人が児童養護施設等で生活しています。現在、登録している里親の数は不足しており、大きな課題となっています。



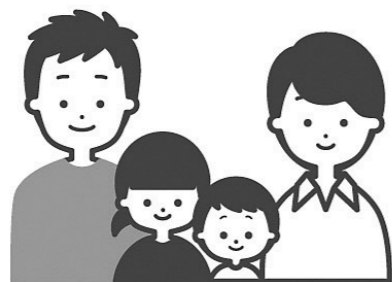
里親の種類

養育里親

埼玉県で里親登録を行い、児童相談所からの委託で家庭に子どもを受け入れ、家族の一員として養育する里親

専門里親

養育里親としての経験を経て、埼玉県で専門里親の登録を行い、虐待や非行、障害などの理由により、特に手厚い支援が必要な子どもを、児童相談所からの委託で家庭に受け入れ、家族の一員として養育する里親



養子縁組里親

将来的に養子縁組をして、戸籍上でも親子関係を結ぶことを前提として子どもを養育する里親(養親)

親族里親

特別な理由で家庭養育が困難な親族の子どもを養育する里親

※ほかに、短期里親やファミリーホームがあります。

里親制度のこと、どれくらい知っていますか

里親制度パネル展を開催します！

- ▶期間／1月17日(月)～28日(金)
午前8時30分～午後5時15分
※土・日曜日を除く
- ▶場所／役場1階ロビー



里親になってみませんか？

現在、将来のある子どもたちの健やかな成長を支援するために、養子縁組を目的とした里親、数日～数カ月など短期間で子どもを預かる里親、長期間で子どもを預かり養育していく里親、中学生や高校生等の大きな子どもと一緒に暮らす里親など、幅広く里親を募集しています。知識や経験のない方でも里親登録ができます。里親に興味をお持ちの方は、児童相談所や児童養護施設の里親支援専門相談員へお気軽にご相談ください。

相談先

- 熊谷児童相談所 (☎521・4152)
- 児童養護施設 桑梓(担当:大谷さん) (☎0495・72・8896)
- 児童養護施設 上里学園(担当:根岸さん) (☎0495・33・0506)
- 児童養護施設 さんあい(担当:野田さん) (☎585・0605)
- 児童養護施設 はなこみち(担当:草野さん) (☎574・3146)



詳細は県ホームページをご覧ください。

新型コロナワクチンの追加接種について

新型コロナワクチンの追加接種(3回目接種)を実施します。対象の方には、接種券を送付しますので、接種を希望される方は接種券に同封の案内通知に沿って予約してください。

▶対象

2回目接種を終了後、8カ月以上経過した18歳以上の町民の方

※「8カ月以上」の目安について
例) 4/15に2回目を接種 → 12/15から追加接種可
6/30に2回目を接種 → 3/1から追加接種可

▶新型コロナワクチン接種の流れ

1 対象者には「接種券」が届きます

2回目接種後、8カ月を迎える方に段階的に接種券を送付します。ただし、①医療従事者等ならびに高齢者施設等の入所者および従事者、②通所サービス事業所の利用者および従事者、③入院患者については、6カ月経過後に追加接種が可能となります。①～③の方は、健康づくり課(新型コロナ対策班)までご連絡ください。

また、①～③以外の高齢者については、2月以降、2回目接種の完了から7カ月経過後に追加接種が可能となります。月ごとの接種受け入れ可能人数を考慮したうえで、接種券を段階的に送付します。

※黄色の封筒で、接種済証と接種券一体型予診票をセットで送付します。

※接種券一体型予診票は、1、2回目接種日等を印字しています。
※国の接種記録システムの接種履歴から接種券を交付します。接種券が届きましたら、1、2回目の接種日、接種場所、ワクチンの種類とロット番号を確認してください。

※接種対象者で接種券が届かない場合は、健康づくり課(新型コロナ対策班)へご連絡ください。

2 ワクチン接種の予約をする

「個別接種(町内協力医療機関での接種)」と「集団接種(町立総合体育館・アタゴ記念館での接種)」のどちらかを選択し接種することができます。予約の際は「接種券」をお手元にご用意のうえ、電話またはインターネットで予約してください。

※個別接種は1月中旬開始、集団接種は2月開始予定です。詳細は、接種券同封の案内通知をご確認ください。

接種券の送付先変更を希望される方へ

郵便局の転送サービスや住民票の異動ができないなど、やむを得ない事情がある場合は、住民登録地以外へ接種券を送付することができます。ご希望の方は健康づくり課(新型コロナ対策班)に申請してください。申請書は同課に備え付けてあるほか、町公式ホームページからも取得できます。

5歳～11歳のお子さんへの接種について

国から接種に関する情報が示されましたら、町公式ホームページ等でお知らせします。

1、2回目の接種について

すでに接種券が届いていて1度も接種していない方、12歳到達者に1、2回目の接種を実施しています。接種を希望される方は本誌11、12月号、または町公式ホームページで接種医療機関をご確認のうえ、予約してください。

ワクチン接種証明書(電子版)の発行について

国内用、海外用の接種証明書が、新型コロナワクチン接種証明書アプリから取得できます。

▶注意事項

- 発行にはマイナンバーカード、パスポート(海外用のみ)が必要です。
 - 接種証明書(紙)の取得を希望される場合は、健康づくり課(新型コロナ対策班)で発行します。
 - 既に取得した海外渡航者向けの接種証明書(ワクチンパスポート)、国内向けの接種済証や接種記録書も従来どおり利用できます。
- ※詳細は町公式ホームページをご覧ください。

追加接種(3回目接種)に関するQ&A

Q1 交互接種(複数回の接種で、異なるメーカーのワクチンを使う接種方法)は可能ですか？

A1 国は、2回目までの接種とは異なるワクチンを追加接種する交互接種を認めています。

Q2 追加接種をした場合、副反応は強く出ますか？

A2 ファイザー社から、海外で行った治験では追加接種後の副反応は「2回目接種までと同程度」と発表されています。

▶2回目接種と追加接種の副反応の比較

接種後7日以内の副反応分析	2回目接種	追加接種
倦怠感	61.5%	63.7%
頭痛	54.0%	48.4%
筋肉痛	39.3%	39.1%
38度以上の発熱	16.4%	8.7%

※2回目接種を受けた16歳から55歳の2,682人と3回目接種を受けた18歳から55歳の289人について、それぞれ接種から7日以内の副反応を分析した結果です。